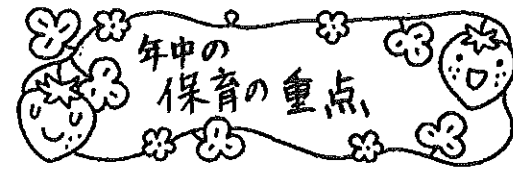
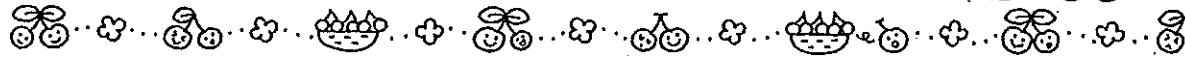


- 甘えたい気持ちを十分に満たしながら、保育者を心のよりどころとし、その子なりのペースで安心して生活が送れるようにする。
- 先生の話は、しっかり聞けるようにする。
- 一人ひとりの幼児の発達に合わせて、必要な経験が得られることや、必要な生活習慣が身についていくように援助する。

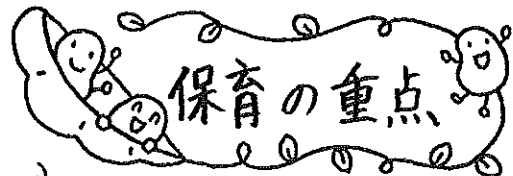


- ① 自分のことは、自分でできること。
- ② 「おはよう」の挨拶ができること。

- ③ 「ありがとう」と、すぐにお礼を言えること。
- ④ 人の目を見て、しっかりと話を聞けること。
- ⑤ 自分の思ったことを言葉で伝えられること。



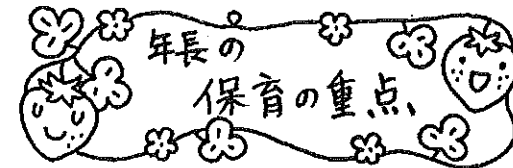
- 入園・進級による情緒の不安定がみられるので、園生活の仕方や遊び方を知らせ安定をはかる。
- 一人ひとりの興味・関心・思い・発達・友だち関係を、しっかり読みと、ていくようにする。
- 旺盛な好奇心を満たしながら、仲間との遊びが楽しめるよう配慮していく。
- 各自が思っている事、感じた事を素直に表現できるようにする。



今年度の保育は、挨拶・良い姿勢・歩く・考える・思いやり に重点を置きます。

- * 挨拶……目と目を合わせてしっかり挨拶し、コミュニケーション力を高める。
- * 良い姿勢……身体・脳の発達に、正しい姿勢は、とても大切である。
- * 歩く……歩く事で体力をつける。
- * 絵本を読む……創造力・集中力を高める。
- * 考える……自分で考えたり、工夫したりすることを日常的に行うようにし、自分で考えて行動する習慣をつける。
- * 思いやり……お友だちの気持ちに気づき、仲良く遊ぶことができる。

以上の重点を、日常の保育に意識的に取り入れて指導していきます。



- 一人ひとりが、園生活を十分に楽しみ、自信を持って色々な事に取り組めるようにするとともに、トラブル・葛藤なども自分たちで解決していけるような、好ましい友だち関係を育てる。
- 自分たちの毎日の生活や、遊び、行事などは、自分たちで考え合、て作りあげていく喜びや、満足感が味わえるよう支えていく。
- 一人ひとりの子どもの実態を常に把握し、育てほしい願いを持ちながら、それぞれの個性を大切に育てる。

